

11月の暦 月名：神無月

8日：寒露 18日：十三夜

20日：土曜入り（20日と11月1日は牛の日） 23日霜降

憎きコロナが、全国で猛威を振っています。仙台市では9月に入っても、緊急事態宣言が12日迄出ましたし、それ以降もまん延防止が30日迄出ました。だから憎きコロナに心緩めることなく、ウガイ、手洗い、人混みを避ける等、コロナの感染予防に十二分に努めましょう。😊

9月も元気にウォーキング、

13日沖老連、27日いきいきクラブ、朝6時に歩きました。

◆ 今月の予定 ◆

11日：ウォーキング9時(沖老連) 10時よりサロン会

13日：区老連グラウンドゴルフ大会、イキイキから8名参加

17日：沖老連グラウンドゴルフ大会

25日：ウォーキング9時(いきいきクラブ)10時よりサロン会



私の投稿欄

匿名 親父ッ子

“彼岸について”

先月二十三日秋の彼岸がありました。

由来

極楽浄土は西方にあり。一年の内で二度、昼と夜

との長さが同じになる春分、秋分は太陽が真東から昇り

真西に沈むので、西方に沈む太陽を礼拝し、はるか彼方の

極楽浄土に思いはせたのが彼岸の始まりである。この時期

には、「あの世」へのゲートが開くといわれて来たそれがや

がて、祖先供養の行事へと趣旨が変わって定着した。しか

し彼岸は日本独自のもので、民俗学では、元は日本古来の

土俗的な太陽信仰や祖霊信仰が起源だろうと推定されてい

る。豊作を太陽に祈願する太陽信仰の「日の願い」が

「日願(ひがん)」として、仏教語の「彼岸」と後から

結びついたものであるとする。民間習俗と彼岸の名称と

その時期とが結合して、仏教行事になり、歳時習俗として

生活の中に大きな存在となった、と指摘する。

結論

「彼岸」とは、迷いや煩惱を脱した「悟りの世界」のこと

を言います。そこで春分の日や秋分の日の前夜にご先祖を

供養することで、彼岸への到達を願うようになりました。

こうして彼岸に通じやすくなる時期に、お墓参りに行く

という「お彼岸」の慣習が生まれました。

春のぼたもちは牡丹から、秋のおはぎは萩からきました。

どちらも同じです。

編集後記

今月から一つ増やしました。今月の暦

投稿欄に会員の皆様投稿おねがいます。私の家のポストか、住所、沖野7-26-3に郵便で。そのほか、役員まで。

セミの声 お疲れ様ねと 虫の声